

あだ名は“ネガティブ長谷川”です

2006年度博士前期課程・2012年度 博士後期課程 修了

長谷川 真照 さん

今日はよろしくお願いします。

よろしくお願いします。

・・・実は、何を聞かれるか、
ちょっとビビっています。

原田研究室のことを色々話すと、
未代まで崇められると先輩から言
われているので(笑)



修士と博士で研究内容が違いますね。

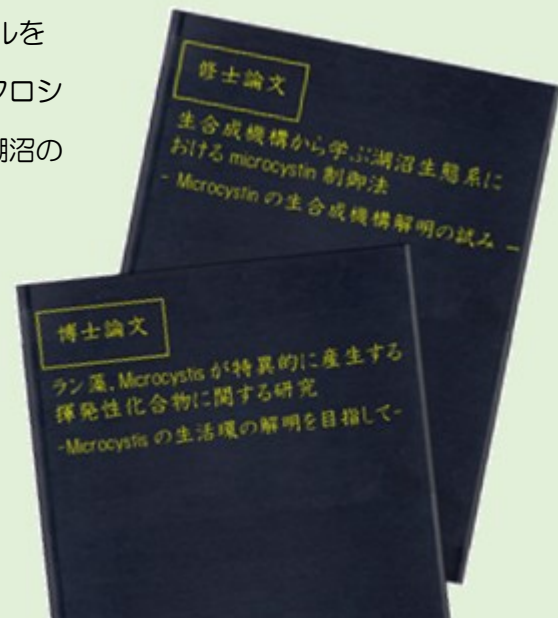


修士では、毒の作用を制御しようと思いました。ラン藻から microcystin という毒ができるんですが、どのように作られるのか、その生合成機構を明らかにして microcystin を作らせないようにしたいと考えました。

博士では、毒そのものではなく、それを産み出すラン藻を何とかしようと思いました。ラン藻は、春から夏は増え、秋から冬は底の方で休眠する変わったライフサイクルを

持っています。それに二次代謝産物である揮発性化合物の β シクロシト랄ールが関与しているのではないかと考え、そこがわかれば湖沼のラン藻を制御できるのではないかと考えました。

研究のターゲットは同じラン藻なのですが、
アプローチの方法がちょっと違うんです。





原田先生とディスカッションしたんですね。

先生と1対1でやるんですが、その時は他の皆はいなくなるんです。

みんな逃げる？

先生に気を遣ってなのでしょけれど、私としては、先輩がいろいろ言われているところを見られなくなるのでよかったですと思っています。

厳しく指導されましたか？

言い返す材料があればちゃんと説明しますが、たいていはないので・・・(笑) 「もう辛いなあ」と落ち込んでいました。先生が求めるレベルに達していないと、「全然ダメだ」「もうちょっと考えてから来い」と門前払いでしたね。僕は「くそっ」と反発するのではなく、落ち込むタイプなんです。

それが「ネガティブ長谷川」の由来ですか？

あっ、それは性格からじゃありません！(笑)

本当は学部4年から修士2年まで、実験データが全部ネガティブなものだったので、ついたあだ名なんです。それが、たまたまキャラと合っちゃったんですね。

最後は、自分からネタにしてみましたけど。研究室では今でもネガティブデータが出続けると「ネガティブ長谷川になっちゃうぞ」と言われるそうです(笑)



あだ名はそれだけ？



「長谷川シンドローム」があります。

実は4年生の時にあった医療実習が、もう楽しくて！先生に「やっぱり修士に行かず、薬局へ行きま〜す！」と言っちゃって、しばらくゴタゴタしたんです(笑)

それで付いたあだ名です。今の後輩たちは「長谷川シンドロームになるなよ」と言われて、医療実習に送り出されるそうです(笑)

セミナー発表が終わった後の開放感は凄い、とおっしゃっていましたね。



4年生の時に北海道へ行きました。4年生は行く前に論文を3本読んで、その要旨をまとめておくのと、あと旅行の企画もやるんです。もう準備が大変で、発表が終わるまでは全然楽しくないんですよ。だからですね、終わったら一気に解放された感動というか、もう本当に楽しい。あとは遊ぶだけですからね！

北海道ということは旭山動物園とか、すすきのへ繰り出すとか？

原田研究室とえばやっぱりアオコの採集ですよ！！

なので、いくつか湖を回って最後はサロマ湖まで行きました。



温泉にも入らず？ 誰かの武勇伝もなく？！

一応、セミナーですからね(笑)

僕は結構、湖・・・というか水辺が好きなんです。

釣りも、よくやります。

あと、天体観測が趣味なんで、その時は星座盤を何枚か持っていて、皆に星座の由来を神話と絡めながら話しましたね。でも、星が多すぎて、探すのに苦労しました。



神話まで知っているなんて詳しいですね。

星の写真も撮りますよ。昴とか、夜通し。

東栄町の方まで行って撮影することもあります。冬はきれいですが、寒いですよ。

研究について、今後の目標は何ですか？

6月から新たな製薬系の会社が変わったばかりなので、まずはそこでの業務を覚えることです。将来は新しい薬を作りたいと思っています。

さて総合学術研究科について伺います。

文系の授業での経験が今の仕事に活かされているということですが。

大学院では心理系の授業も受けていました。そのおかげでしょうか、薬局で働いていたときに、患者さんとのコミュニケーションに役立ちました。いろいろなタイプの方がいますけど、距離感のようなものはなかったですね。親身になって話を聞けるようになりましたし、こういうこととは言ってはいけないとか。

仲間にも恵まれましたか？

高倍研究室の二人と、僕ともう一人原田研究室から来ていましたが、異分野を専修する人たちが一緒に学習するのはいいですね。いろんな話ができて。あと、社会人から博士課程に入った堀さんとも仲がよかったです。年齢の大きく異なる人と一緒というのも大きかったです。堀さんは修士の授業を一緒に受けていましたので。



それで落ち込む性格は変わりましたか？

残念ながら、これは今でもそうで、結構引きずって切り替えに時間がかかります。そういう時は飼っている熱帯魚をじっと見つめていたり、ゲームに没頭したりして乗り越えます。彼女に愚痴ったりもします♡♡♡

では最後に、後輩へ一言をお願いします。

いろいろな職種の人からいろいろな話を聞くことで、自分の物事に対する考え方や姿勢が変わります。みなさんも総合学術研究科で一皮むけた自分を発見して欲しいです。